

令和6年度 第1回 社会教育委員会会議

開催日時・場所	令和6年11月21日（木） 13:30～15:00 生涯学習センター3階第2会議室
社会教育委員	千坂行雄委員長 富田勇人副委員長 望戸千恵美委員、臼井武彦委員、青木良斗委員、遠藤恵子委員、山崎文代委員 清水輝和委員、福田潔子委員、森陽子委員、石原たかゆき委員、大野京子委員、 長澤成次委員、逸見総一郎委員、野澤順治委員 15名
生涯学習部	板垣生涯学習部長、六郷生涯学習部次長、館野青少年育成課長、 米田中央図書館長、小笠原考古博物館館長、皆川社会教育課主幹
学校教育部	榎本学校地域連携推進課長、酒井少年センター所長
事務局（社会教育課）	岩澤主任、上甲主任、岩生主任主事、堀主事
会議の概要	
1. 会議の次第	
<p>議題</p> <p>(1) 委員長、副委員長の選出について</p> <p>(2) 令和6年度社会教育関係事業概要について</p> <p>その他</p>	
2. 概要	
事務局 六郷次長	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長決定まで進行を事務局が行うことの確認→異議なし ・市川市社会教育委員設置条例に基づく会議成立の確認 ・会議内容の公開、会議録作成と録音の確認→異議なし ・傍聴者の確認（傍聴者無） <p style="text-align: center;">—————委員より自己紹介—————</p> <p>(1) 委員長、副委員長の選出について</p> <p>市川市社会教育委員設置条例第4条第1項に基づき、15名の委員から委員長を1名、副委員長1名を互選にて選出することとなっている。まず、委員長の選出について、自薦・他薦は問わないのでご推薦をお願いしたい。</p>
望戸委員 六郷次長	<p>委員長に千坂委員を推薦する。</p> <p>ただ今、望戸委員より千坂委員のご推薦があったが、委員の皆様いかがか。</p> <p style="text-align: center;">【異議なし】</p> <p>千坂委員、いかがか。</p>
千坂委員 六郷次長	<p>引き受けさせていただく。</p> <p>続いて、副委員長の選出に移る。</p> <p>先ほど同様立候補もしくはご推薦をお願いしたい。</p>
遠藤委員 六郷次長	<p>副委員長に富田委員を推薦する。</p> <p>ただ今、遠藤委員より富田委員のご推薦があったが、委員の皆様いかがか。</p>

	【異議なし】
富田委員	富田委員、いかがか。 引き受けさせていただく。
六郷次長	委員長は千坂委員、副委員長は富田委員に決定した。 (委員長・副委員長席移動) これより議事の進行を千坂委員長にお願いしたい。
千坂委員長	皆様にご推薦いただき、何回かここに座らせていただいておりますが、今後ともよろしくお願ひいたします。
千坂委員長	(2) 令和6年度社会教育関係事業概要について それでは、議題2「令和6年度社会教育関係事業概要」について、各所属長より説明をお願いしたい。
青少年育成課長	当課5つの事業と少年自然の家の事業について、ご説明する。 1つ目は、放課後保育クラブ事業。本事業は、放課後に保護者の就労等により保育を受けられない小学生を対象に、適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図ることを目的としている。令和6年11月1日現在、46クラブ133クラス、5,223人の児童が利用している。 2つ目は、子ども会育成会連絡協議会補助事業。市内13地区内の単位子ども会の連合体である「市川市子ども会育成会連絡協議会」に対し、活動費の一部(300万円)を助成し、堅実な活動と発展を促進し、青少年の健全育成を図っている。令和6年10月現在、未就学児から高校生および育成者の合計3,941人が入会している。 3つ目は、青少年指導者育成事業。生涯学習の推進、地域リーダーの育成を目的とし、小学生から社会人に至るまでステップアップ形式で3つの講習会を実施している。一つ目は、小学5,6年生を対象にした「わんぱくセミナー」で、今年度は4回の講習を実施し、43人が受講した。二つ目は、中学生、高校生を対象にした「ユースリーダー講習会」で、今年度は6回の講習を実施し、50人が受講した。三つ目は、18歳以上を対象にした「グループリーダーアカデミー」で、今年度は令和7年1月から4回の講習で50人の募集を予定している。 4つ目は、体験学習事業。大野町4丁目にある小川再生親子ふれあい農園において、市内在住・在学の小学生とその家族を対象に稲作や野菜の栽培といった体験学習を通し、自然や人とのふれ合い、勤労と収穫の喜びを体験することにより、心豊かな子どもたちを育てていくことを目的として実施しているもの。今年度は、12回の活動を行い、延べ1,162人が参加した。 最後に、少年自然の家の事業。少年自然の家は、自然に親しみ、自然の中での集団宿泊生活や野外活動を通じて、情操や社会性を豊かにし、健全な少年の育成を図る施設であり、宿泊利用は市内外の小学生を中心に、今年度は10月

<p>社会教育主幹</p>	<p>未現在、延べ898人の利用があった。その他、豊かな自然の中における活動体験として、「チャレンジャースクール」や「親子宿泊体験」などを主催事業として実施している。また、原則、毎週土・日の午後には、プラネタリウム事業を行っており、市民に心の潤いと安らぎの場を提供している。</p> <p>掲載事業に関して3点ピックアップし、ご説明する。</p> <p>まず公民館主催講座について。今年度も前期と後期の2回開催する。前期は118講座を計画し、後期は112講座を計画している。実施講座詳細については、お手元に配布している「公民館講座情報紙（ミーティアムガイド）」をご覧いただきたい。今年度は、シニアを対象にスマートフォンの利活用に関する講座を各公民館にて実施している。定員を上回る応募があり、シニア層の関心の高さを実感している。</p> <p>続いて、成人祝賀事業について。昨年度から会場の混雑緩和及び円滑な会場運営のため、対象者の中学校通学区域別に午前・午後の2回に変更して開催している。また、例年同様に今年度も実行委員会を組織し、企画運営を担当する事業者とともに、思い出に残る、意義ある成人式となるよう準備を進めてゆく。</p> <p>最後に、いちかわ市民アカデミー講座について。市内大学に市民向けの講座を各3回、講座定員を50名までで依頼している。今年度より、東京経済短期大学が加わり、4大学で実施しており、コロナ禍以降、オンラインでの実施を取り入れた学校も、対面での実施に対するニーズに応え今年度よりすべての学校で対面での講座を実施している。今年度は4校合わせて145人定員の内132人の応募があり、現在2校で終了、1校開催中、和洋女子大学は今週末から開催となる。</p>
<p>中央図書館館長</p>	<p>中央図書館から3事業についてご説明する。</p> <p>1つ目は、図書館の整備とネットワークについて。中央・行徳・信篤・南行徳・平田・市川駅南口の6ヶ所の図書館（室）のほか、自動車図書館による25か所の拠点への巡回サービスを行っている。3つの小学校内に設置された市民図書室、また公民館図書室、男女共同参画センターや資料室、情報プラザなどの市の施設で、本の受け取りなど、各種図書館サービスを展開している。また、コロナ禍により、学生以外の入館ができなかった千葉商科大学の入館再開に伴い、大学への本の貸し出しや、市民の大学図書館での閲覧などの相互協力等のサービスを令和6年4月より再開している。</p> <p>2つ目は、利用の促進について。令和5年6月に西部公民館と柏井公民館に新たに返却ポストを設置した。また、令和6年3月には、若宮公民館にも返却ポストを設置し、市役所第一庁舎の返却ポストは、こども図書館のキャラクターである、くま館長とうさぎ司書のイメージキャラクターを使用して親しみやすくデザインし、リニューアルした。県内公共図書館ネットワーク相互協力による図書の提供、レファレンスサービスによる課題解決支援機能、SNSやホームページ等でのPRの施策により市民の利用促進を行っている。</p> <p>3つ目は、市民協働事業について。令和5年度から、市民提案型図書館推し</p>

<p>考古博物館館長</p>	<p>活企画を募集している。市民から、図書館や、図書館資料を用いて、事業を展開したいと思われたものを提案いただき、推し活として事業を採択・実施した。昨年度は、10件の推し活を実施した。令和6年度は、施設開館30周年を迎えることから、この事業拡大として、「メディアパーク30祭(さい)」として官民協働で順次イベントを開催している。本日メディアパークに入る際にご覧いただいた、のぼり旗も、市川市図書館友の会というボランティア団体より寄贈いただいた。図書館はこれからも開かれた図書館づくりを目的として市民の方々の生涯学習を支援してゆきたい。</p> <p>市内に3つの博物館、考古博物館(先土器時代～平安時代)、歴史博物館(平安後期～現代)、自然博物館(市川の自然)がある。項目が多いので要点を絞って説明する。</p> <p>まず、展示テーマについて。博物館の企画展示は3館の持ち回りでやっている。今年度は自然博物館で令和6年7月9日(火)から9月1日(日)まで、企画展「いきものの飼育」を開催し、自然博物館で飼育展示している小動物について飼育方法をパネル展示した。期間中17,606人の来館があった。また、小学3年生の授業カリキュラムに対応した、学校連携学習資料展「発見・体験 昔の暮らし」を令和6年9月7日(土)から令和7年1月26日(日)まで開催する。</p> <p>次に博物館教育普及事業について。考古・歴史博物館では、10月には講演会、11月にはオータムフェスタを実施した。6月には歴史年表を作成、アイリンクタウンに展示。現在、アイリンクタウンスタートで、考古歴史博物館をまわってきていただいた方に500ポイントのプレゼントするスタンプラリーも2月まで開催している。</p> <p>文化財史跡公有化事業について。史跡下総国分寺跡附北下瓦窯跡の窯跡部分について、残りの1筆分、97.59㎡を購入する。また、史跡曾谷貝塚について、売却の申出があった史跡内の土地793㎡を購入する。</p> <p>文化財史跡整備保存事業について。史跡下総国分寺跡附北下瓦窯跡の整備基本計画の策定を行う。また、史跡曾谷貝塚の保存活用計画の策定を行う。今年度から来年度にかけて策定していく。</p> <p>文化財埋蔵文化財調査事業について。昨年度より進める下総国府の様相を探る手がかりを得るための発掘調査を行い、国衙の遺構の状況をより正確に把握する。今年度も千葉商科大学に協力いただければ、進めてゆきたい。</p> <p>文化財指定有形文化財保存修理事業費補助について。中山法華経寺祖師堂の保存修理について、今年度最終の耐震補強工事に伴い、補助金を支出する。</p>
<p>学校地域連携推進課長</p>	<p>事業数が多いが、全て当課の重要事業の為、ポイントでお話する。</p> <p>まず、子どもの居場所づくり事業について。放課後子ども教室は市立小学校等の空き教室等を活用して、授業の終了後等に、児童の安全安心な居場所を確保し、放課後保育クラブと連携して、学習支援やスポーツ等の活動や、地域と学校との交流活動等の機会を継続的に提供する。現在、全市立小学校の39ヶ</p>

所で開室している。

続いて、コミュニティクラブ事業について。各中学校区・義務教育学校区に組織されているボランティア組織と委託契約を結び、「遊び」を通して地域の子どもたちの健全育成を目指し、その活動を通して、子どもたちの成長を支える地域社会並びに生涯学習社会の構築を目指すものである。令和5年度の活動回数は全体で476回、参加延べ人数は43,615人である。

続いて、家庭教育学級運営事業について。子どもにかかわり合う大人が学び合い、家庭でのよりよい子育てについて考え、親として子どもと一緒に成長することを目指す事業。各学級が様々な内容の講座を自主的に企画する「自主企画講座」と、当課の家庭教育指導員（2名）が自身の教育現場での知識や経験を活かしながら指導助言を行う「指導員講座」を行っている。

さらに、家庭教育指導員が子育てに関する情報発信、保護者の不安や悩みへの助言を行う「サポート講座」も行っている。

学校支援実践講座事業について。市民を対象として、学校における「人間関係で生じる問題」をテーマとした社会人権講座（年間3回）を行う。その後、「いじめの未然防止」を目的とした小中学校で行われる交流会に参加し、架空の事例を基に児童生徒の意見交換の進行役を務める。令和5年度は受講者数157人（過去最高）、31校137学級で開催された。

学校施設開放事業について。市民のスポーツの推進、文化活動の振興及び青少年の健全育成を図ることを目的とし、学校教育に支障のない範囲で市立学校の施設を開放している。開放施設及び時間は運動場・体育館・教室等で9時～21時。令和5年度使用実績は登録団体数が637団体、利用延べ人数が約156万人である。

コミュニティ・スクール推進事業について。コミュニティ・スクールは、学校、保護者、地域の連携・協働を推進し、双方が一体となって学校の運営に取り組む「地域とともにある学校」を推進するための仕組みである。本市では、「学校運営協議会」と「地域学校協働本部」が両輪となり「コミュニティ・スクール」として推進している。

学校運営協議会は市川市教育委員会から任命された地域住民、保護者の代表等、15名以内の委員が一定の権限と責任をもって学校運営に参画する合議制の機関である。平成28年度から順次設置を進め、令和元年度に全ての市立幼稚園・学校に設置が完了した。令和5年度の学校運営協議会委員数は817名である。

「地域学校協働本部」は、中学校ブロック及び義務教育学校区を単位に設置をしており、学校と地域を結ぶ窓口となる機能を担う組織である。市川市教育委員会から委嘱された地域学校協働活動推進員を中心に、学校のニーズを引き出し、地域のネットワークを活用して様々な教育活動や地域活動をサポートする。平成30年度から順次設置を進め、令和2年度に全ての中学校ブロック及び義務教育学校区に設置が完了した。

青少年相談員活動事業について。例年同様記載の通りである。

学習支援推進事業について。各学校で組織された学習支援クラブにおいて、

少年センター所長	<p>地域、家庭、学校が一体となって、日常の学習活動に地域の教育力（人材、地域環境、文化、歴史等）を活かし、地域の実情に応じた特色ある学習活動を展開する。令和5年度の事業実績は、ボランティアの延べ人数 5,349人であり、主な学習支援活動内容は学習支援活動、職場や社会体験、地域文化と、こういったものが各学校で展開している。</p> <p>少年センターからは、3点の事業について説明する。</p> <p>少年センター運営協議会事業について。教育委員会の諮問に応じて、少年センターの運営についての方向性などを審議する、少年センター運営協議会を開催する。委員は、教育関係者3名・児童福祉関係者2名・警察関係者2名・学識経験者1名・民間有識者7名の計15名で構成されている。今年度インターネットトラブルに巻き込まれないためにと題して、評議いただいた。</p> <p>補導員活動事業について。非行の早期発見・未然防止のため、市内160名の少年補導員と市川・行徳両警察署の協力を得て、実施計画に基づいた市内全域の補導活動を実施する。また、補導活動を有効に行うための会議・視察・研修の充実を図る。令和5年度状況は、実施回数410回、従事人数1,637人、補導数256人。令和6年度は、9月までで実施回数216回、従事人数910人、補導数175人である。</p> <p>少年相談事業について。複雑化、深刻化する傾向にある相談者の悩みやニーズに対応できるよう、電話やeメールでの相談を受ける。周知のために少年相談カードやポスターを小・中・義務教育・特別支援、高等学校に配付している。また、専門家（スーパーバイザー）による研修を年2回行い、相談員が自らの方法や技法を改善し、相談者に対してより適切な支援が可能になるようにしている。電話相談の実績は、令和5年度は234件、令和6年度は今現在で147件。メール相談の実績は、令和5年度は138件、令和6年度は75件。面接相談件数の実績は、令和5年度は149件で、令和6年度は、89件であった。</p>
千坂委員長	<p>各担当より丁寧な説明がありました。</p> <p>各委員より質問があればお願いしたい。</p>
望戸委員	<p>図書館の推し活企画は今どきのネーミングで、興味が持てて面白い。</p> <p>10件実施したとのことであったが、具体的な内容と効果を教えていただきたい。</p>
中央図書館長	<p>昨年度の実施件数が10件であったが、その中のいくつかをご紹介します。</p> <p>大柏川ビジターセンター内に絵本コーナーを設置していたが、活用が見られなかった。絵本と生き物の会という団体より、提案があり、月に1回「てんとうむしの会」として、読み聞かせや人形劇などを開催した。</p> <p>「いちかわのほほん古本市」を昨年度2回実施した。生涯学習センターにてフリーマーケット形式で実施。一人段ボール1箱持参し、地域活性化を目的と</p>

千坂委員長	<p>して一箱古本市を開催。</p> <p>「お手紙読書会ふみばこ」として、〇〇なあなたへとして手紙を書いて本を紹介し、手紙を受け取った人は、次の人へ自分が紹介したい本を手紙にして書くという、本を通じたゆるやかな繋がり創出を目指す試みを行った。</p> <p>なかなか面白い企画があるとわかった。</p> <p>他にあればお願いしたい。</p>
清水委員	<p>少し前に教育委員関係課へ、クラブ活動の先生の働き方改革として、民間に対応せよとのことがあったが、スポーツ協会としては進捗を追いいたいところ。</p> <p>他市の例では、一般の指導者ではお金がかかるということで、学校の先生がやり始めて、(取り組みが)頓挫している状況があると聞いている。</p> <p>進捗がわかれば教えていただきたい。</p>
千坂委員長	<p>事業内容と異なっているが、答えられる範囲で対応可能か。</p>
学校地域連携推進課長	<p>部活動の地域移行は保健体育科が所管している。</p> <p>今年度第四中学校がモデル校で走っている。</p> <p>地域で指導できる方がいないかと、当課に確認が来た。</p>
清水委員	<p>そこまでは聞いている。その後どのようにというところまでは情報が入っていないということか。</p>
学校地域連携推進課長	<p>地域の指導者がどこでどのようにというところまでは聞いていない。</p> <p>保健体育課へ清水委員より質問があった旨を報告する。</p>
千坂委員長	<p>担当部署が違うので難しいためここまででよろしいか。</p> <p>他にあればお願いしたい。</p>
大野委員	<p>教育センターへうかがいたい。私は、児童相談所でも嘱託を務めている。</p> <p>補導の方法について詳しく教えていただきたい。</p>
少年センター所長	<p>補導の時間帯は、10時から、15時から、16時から、19時からの4つの時間帯がある。夜遅くに外で遊んでいる児童・生徒へ声をかけるのはもちろん、下校の時間帯に不審者危惧もあるので、下校の見守りも行っている。</p> <p>コルトンプラザのゲームセンターなどで遅くまで遊んでいる子供がいた場合、18時以降はゲームセンターにも協力いただき、声をかけているが、それに応じない子供に補導員より「愛の一声運動」を行っている。</p> <p>補導員より、こどもたちが外にいないため、危険な遊びをしている子供に声をかけることも少なくなっていると聞いているため、先ほどの事例のように子供たちの安全を守る側面でも補導員の力を借りている。</p>

<p>大野委員</p>	<p>放課後の時間帯の不審者は、どのような時期でもどのような場所でも出現の恐れがあるため、義務教育年齢のお子さんをお持ちのご家庭ではありがたいと考える。</p> <p>一方で児相に上がってくる事案は、家にも学校にも居場所がなく、先ほどの時間帯に漏れた時間に警察に補導されて、児童相談所に来るといった事案である。</p> <p>家と学校以外の居場所をどう作るのかということが言われている。補導して家に帰して終わりではなく、機能不全になっている家庭ではない場所の居場所を社会的にどう作っていくのが課題となっている。今後、そういったところについてもご考慮いただきたい。</p>
<p>千坂委員長</p>	<p>難しい問題でもあるかと思うが、少年センターにおいては、よろしく願いしたい。</p> <p>他にあればお願いしたい。</p>
<p>逸見委員</p>	<p>学校施設開放事業について、曜日の制限はあるか。土日も開放しているか。</p>
<p>学校地域連携推進課長</p>	<p>平日以外土日も開放している。</p>
<p>逸見委員</p>	<p>登録団体があるとして、どこが主体となって決めるのか。</p>
<p>学校地域連携推進課長</p>	<p>学校に空きにあるかを確認する。その後空きがあった場合に、登録申請を学校と一緒に作成いただき、当課で審査・承認を行っている。</p>
<p>千坂委員長</p>	<p>他にあればお願いしたい。</p>
<p>大野委員</p>	<p>社会教育課へのお願いだが、主催講座は障がい者の方が利用できる企画が少ない。</p> <p>障がい者の方たちは、高校までの学校教育は確保されているし、卒業後も就労支援や生活支援を受けられるが、余暇の使い方についての支援が現在漏れている。</p> <p>高校まで運動をしていた子が、その後、一般のスポーツクラブに入ることでもできず、かといって講座のようなものもないため、スポーツへの関わりが終わってしまう。</p> <p>健常者だけではなく、ハンディキャップのある、知的障害のある方への講座を今後行っていただきたい。</p>
<p>社会教育課</p>	<p>教育振興基本計画の中の課題の一つでもあり、昨年度の終わりにアンケートを行っている。多様なお答えをもらっているので、参加できる講座などを検討していきたい。一方で、オンライン講座（YouTube配信）を実施している。公民館へ足を運ぶことができないという障がい者の方にも利用い</p>

	<p>ただけるようなものを作っているため、このような事業も引き続き行ってゆきたい。</p>
千坂委員長	<p>障害者の方も求めているので、受け止めていただくことが先である。他にあるか。</p>
長澤委員	<p>先ほどの（大野委員の質問へ情報共有）内容だが、千葉県内にも公民館で障がい者青年学級を開いているところがある。浦安や木更津にもある。また、就労の場として、公民館に喫茶コーナーを入れている場所もある。東京の国立などが例である。</p> <p>家庭教育学級運営事業のところで、自主企画講座は実績としては、どのくらいの学級で行われているのか。財政的な支援が市からあるか。特徴的な自主企画講座があればその内容を教えていただきたい。</p>
学校地域連携推進課長	<p>自主企画講座は令和5年度は、96講座実績がある。昨年度の詳しい資料を持っていないが、講座のイメージとしては生徒のお母さん方が家庭教育学級を開いて、子育てに関する講座や工場見学やヨガなどを通じて、子育てについて悩んでいる状況が解消され、共に仲良く頑張ろうという内容である。</p> <p>P T Aの予算に関わる場所なので、会計については把握していない。</p>
富田副委員長	<p>自主企画講座は、A E Dの使い方などをやったら評判がよかった。役に立つことであり、親子として学べるためP T AとしてA E Dの使い方講座は広めているところ。</p>
長澤委員	<p>講師の予算はP T Aの会費から出ているか。</p>
学校地域連携推進課長	<p>市としては消耗品の支払いはしているが、講師の謝礼金は把握していない。</p>
富田副委員長	<p>講師の予算はP T Aの会費から出している。P T A会費は支払ってなくても参加できる。年間2万円程度かかっている。</p>
福田委員	<p>自主企画講座については、私もP T Aの担当を過去にやっており、以前は教育委員会から年間1万円程度出ていたが、なくなったのか。</p>
学校地域連携推進課長	<p>なくなった。</p>
福田委員	<p>残念だ。</p>
千坂委員長	<p>財政難という状況の中難しい問題ではある。社会教育課に伺いたい。</p>

<p>社会教育課主幹</p>	<p>公民館の利用条件について審議をしたことがあったかと思うが、その後の利用条件は緩和されたか、どのようになったか。</p>
<p>千坂委員長</p>	<p>今回より使用者登録の更新の手続きを簡略化する方向で進めている。 また、使用者に関しては、コロナ禍以降徐々に戻ってきている傾向にある。</p> <p>機会があったら、また質問する。</p> <p>議題（２）「令和６年度社会教育関係事業概要」はこれで終了とする。 活発なご意見と審議をありがとうございます。 本日の議題は全て終了した。 最後に、連絡事項等はあるか。</p>
<p>事務局</p>	<p>会議録は、事務局で案を作成し、委員長に確認後に、市の公式ウェブサイト等で公表する。</p> <p>次回の社会教育委員会議は令和７年３月を予定している。日程調整をし、後日連絡させていただく。</p>
<p>千坂委員長</p>	<p>以上をもって、第１回社会教育委員会議を終了する。</p>